

研修会報告

令和5年12月29日

文責：遺伝子・染色体部門長 青山 弥生

研修会テーマ「16S rRNA シーケンス解析を学ぶ」

開催日時 令和5年12月23日（土）13：00～15：00

会場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司会 東北医科薬科大学病院 検査部 長岡 裕李

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 42 名

講演1「16S rRNA 解析の原理と検査方法」

北海道大学病院 検査・輸血部

岩崎 澄央 技師

講演2「16S rRNA 解析の臨床的有用性」

東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座

総合感染症学分野 馬場啓聡 先生

15：00 終了

内容

今回は、菌種同定や起因菌検索において近年、ますます需要が高まっている 16S rRNA シーケンス解析について、知識やスキルを習得してもらう目的で、検査の基礎・検査手技、臨床での活用に焦点を当てた研修会を開催した。

岩崎技師の講演では、解析の基本原理や手法、データベースとの照合操作に関する詳細な説明を頂いた。特に、得られた結果の解釈についてのアドバイスは非常に参考になった。

馬場先生の講演では、臨床での有用性や実際の症例に基づく解析の重要性についてお話頂いた。培養不能な菌を同定し、それが適切な治療に繋がった例など、臨床での利用の重要性を理解することができた。研修会を通じて、16S rRNA シーケンス解析の実施手順や臨床応用に関する理解が深まり、今後の業務に活かしていくことを期待したい。

今回も Zoom ウェビナーを用いた Web 研修会であり、県外からも多くの方に参加頂いた。遺伝子検査にもっと関心を持ってもらえる工夫は今後も課題であり、意見の出し合える活発な場になるよう研修会を開催したい。